



FAOと水産養殖局について

Presentation for the Tokyo University of Marine Science and
Technology (TUMSAT), 10 Jan 2013

国連の目的

United Nations

Peace and
Security
平和と安全

Economic & Social
Development
経済・社会的問題



International Law
国際法に基づく
紛争の解決

Humanitarian Affairs
人道的問題

Human Rights
人権の尊重

国連の専門機関



国連食糧農業機関
FOOD AND AGRICULTURE ORGANIZATION OF
THE UNITED NATIONS (FAO)

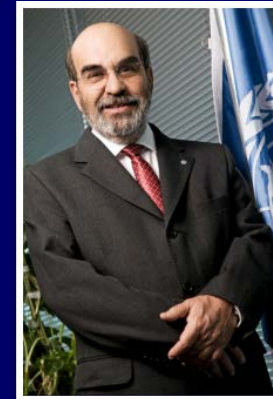


F A O 屋上からのパノラマ



FAOの概要

- 設 立： 1945年10月16日
- 加盟国数： 191カ国＋EU
- 事務局長：
ジョゼ・グラジアーノ・ダ・シルバ



- 本部：イタリア国ローマ
- 職員数：約3500名。うち55%が本部（ローマ）
- FAO： www.fao.org
FAO日本事務所： www.fao.or.jp

FAOの目的

- 栄養水準・生活水準の向上
 - 食料・農水産物の生産・流通の改善
 - 農村・漁村住民の生活条件の改善
- を通じた世界経済の発展及び人類の
飢餓からの解放

“Helping to Build a World without Hunger”

(飢餓のない世界を作るために)

“Food for All”

(全ての人に食料を)

FAOの活動

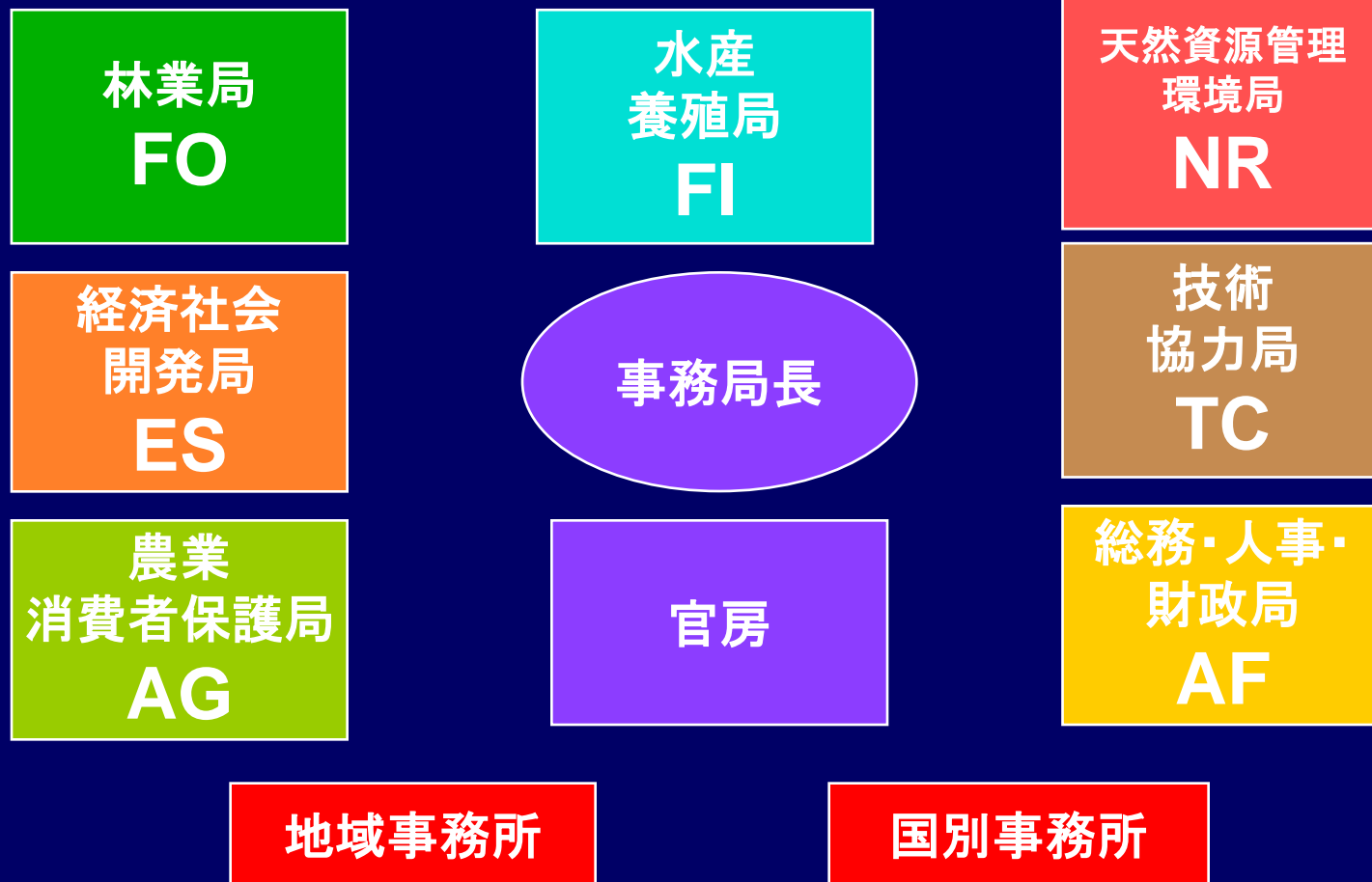
- 情報収集・伝達
- 政策提言
- 国際的な討議の場の提供
- フィールド・プロジェクト

FAOの運営組織

- 総会
- 理事会
- 各種技術委員会
(水産委員会等)
- 地域総会



FAOの組織



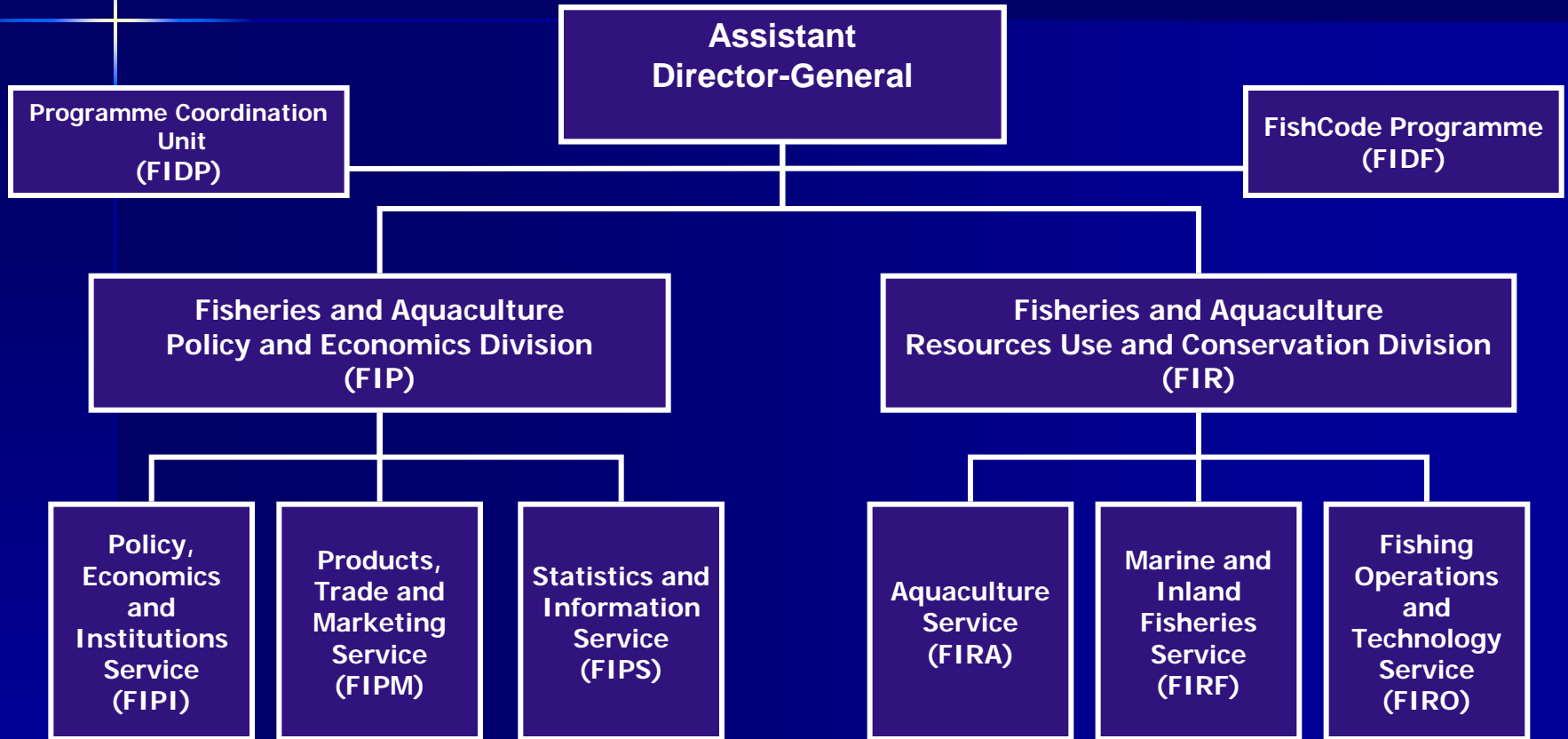
FAOの予算

- 総予算額(2012-13年): 約24億米ドル
 - うち
 - 通常予算(主として各国分担金)
約10億米ドル
 - 任意拠出金
約14億米ドル

日本とFAO

- 日本のFAOへの加盟
→1951年11月21日
- 日本は通常予算の約12.6%を拠出する米国に次いで第2位の拠出国
- しかし、その割には職員数が少なすぎる：
76-103名のプロフェッショナル・スタッフが求められているのに28名しかいない

水産養殖局の組織



My Division



水産養殖局の職員数（2012年12月）

- プロフェッショナル・スタッフ（プロジェクト含む）
： 約85名（うち邦人職員4名）
- ジェネラル・スタッフ：約50名
- コンサルタント：約25名

計約160名

（これ以外にも、地域事務所に約15名の水産専門家）

水産養殖局の予算

- 通常予算:約66.5百万ドル (2012-13)
- トラストファンド: 約86百万ドル(日本、ノルウェー他)

水産養殖局の活動

- 世界の食料供給を確保するために責任ある漁業・養殖業を推進する
 - Code of Conduct for Responsible Fisheries（責任ある漁業のための行動規範）
 - International Plan of Action（国際行動計画）
- 世界の漁業・養殖業に関する情報収集と分析
 - SOFIA, GLOBEFISH
 - Website : www.fao.org/fishery
- 中立的な協議の場の提供(COFI)

水産養殖局への日本の貢献

- 財政的貢献: トラストファンドへの拠出
約100万米ドル(2011年)-3プロジェクト
 - 責任ある持続的漁業の促進
 - 漁業の生態系に基づく管理への支援
 - CITESリスティングに関するFAO専門家パネル支援
- 人的貢献: 4名の邦人職員
- 水産委員会等における積極的な貢献
- 責任ある漁業への誠実な取組み

EMPLOYMENT IN FAO

- <http://www.fao.org/employment>

Hiromoto.Watanabe@fao.org

THANK YOU